

## 秋田県市町村未来づくり協働プログラム

### 五城目町プロジェクト「元気と安心で幸せを実感できるまちづくりプロジェクト」 における事後評価調書

#### 1 プロジェクトの目的

五城目町は、高齢化率が平成24年7月現在で40.6%となっており、要介護者や要援護世帯の増加が見込まれることなどを踏まえ、療養・介護が必要な時期や人生の終盤に至るまで、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、町民の健康づくりや介護予防の充実に加え、地域の支え合い体制や医療・介護・福祉・保健が一体となったサービスの提供体制を確立し、町民の生活満足度の向上を図る必要がある。

このため、次の3項目による取組を進め、全町を挙げて健康増進と疾病予防に努めるとともに、地域コミュニティの維持発展を図り、元気と安心で幸せを実感できるまちづくりの全県モデルを目指す。

- 健康づくり及び介護予防の充実を図るため、身体活動・運動を促進する場の確保とメニューの積極的な浸透を図るほか、生活習慣病予防、認知症予防、心の健康づくり、食生活改善などの取組を、より町民の身近な場所で展開する。
- 地域コミュニティの維持発展に向けた活動を展開しながら、集落単位での健康づくり活動を充実させるとともに、互助機能の活性化による地域支え合い活動の展開を図り、要援護世帯の生活を地域ぐるみで支える体制を整備する。
- 介護や療養が必要となっても、自宅で安心して生活ができるよう、在宅医療体制や地域支え合い体制を整備し、医療・介護・福祉・保健が連携して在宅生活を支えるシステムづくりを推進する。

#### 2 プロジェクトの概要

策定年月日	実施期間	五城目町 総事業費 (千円)		県事業・協働 事業費 (千円) B	総事業費 (千円) A + B
		A	うち交付金 (千円)		
H25.5.21	H25～28	504,317 (483,832)	200,000	17,376	521,693

※ ( ) 内は計画値

#### 【プロジェクトを構成する事業】

##### ○町実施事業

事業名	総事業費 (千円)	うち交付金 (千円)	備考
健康づくりと介護予防の拠点整備	335,987	194,000	
健康づくりと介護予防の推進	20,959	6,000	
地域支え合い拠点施設の整備	86,015	0	
元気なムラづくりの推進	60,544	0	
在宅生活支援のための検討チーム、勉強会、講演会等の開催	812	0	
計	504,317	200,000	

○県実施事業

事業名	総事業費（千円）	備考
あきた減塩推進事業	313	
歯科口腔保健支援推進事業	509	
がん検診受診勧奨推進事業	1,195	
あきた元気ムラづくり総合推進事業	12,743	
計	14,760	

○協働実施事業

事業名	総事業費（千円）	備考
町民への全世帯アンケート、悉皆調査の実施	2,616	
ITを活用した見守り体制構築事業	0	NTTドコモの協力により実施
湖東総合病院と連携した在宅医療体制の整備	0	町事業を通じて実施
計	2,616	

### 3 プロジェクトの成果指標と達成状況

指標名	基準値 (H22)	目標値 (H29)	実績値 (H28)	達成率 (%)	備考
特定健診受診率	46.8%	60%	45.2%	75.3%	県(H27) 46.5% 国(H27) 50.1%
屋内温水プール利用者数	22,350人	24,500人	27,593人	112.6%	
「高齢者への生きがいづくりや生活支援」に対する町民満足度	(H23) 44.7	60.0	50.2	83.7%	
「町民との協働のまちづくりの推進」に対する町民満足度	(H23) 49.6	75.0	50.0	66.7%	

### 4 住民アンケート調査の結果

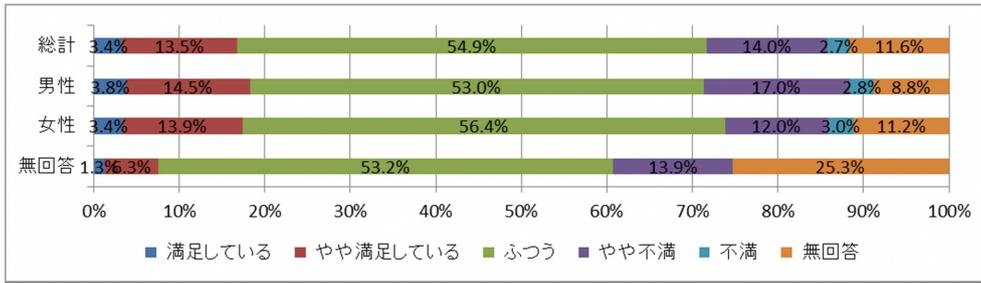
① 「高齢者への生きがいづくりや生活支援」に対する町民満足度

「満足している」・「やや満足している」が約2割、「ふつう」が約5割、「不満」・「やや不満」が約2割、無回答が約1割となった。年齢別では、総計と比較して、10～20代及び70代の満足度は高いものの、30代～60代までの満足度が低い結果となった。

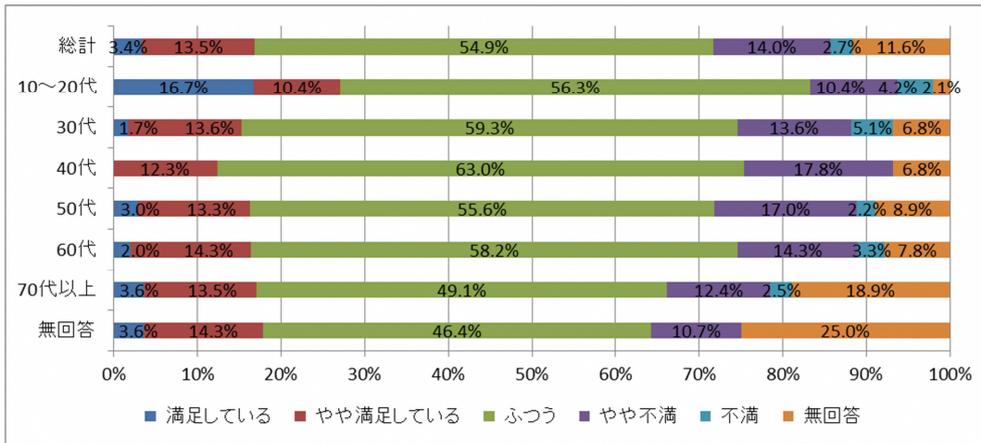
② 「町民との協働のまちづくりの推進」に対する町民満足度

「満足している」・「やや満足している」が約1割、「ふつう」が約6割、「不満」・「やや不満」が約1割、無回答が約2割となった。年代別では、総計と比較して、10～20代及び60代以上の満足度は高いものの、30代～50代の満足度が低い結果となった。

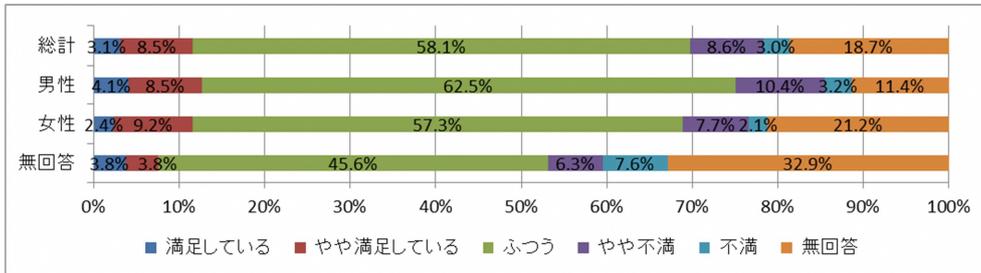
【調査結果概要 ①「高齢者への生きがいづくりや生活支援」に対する町民満足度】  
(全体・男女別)



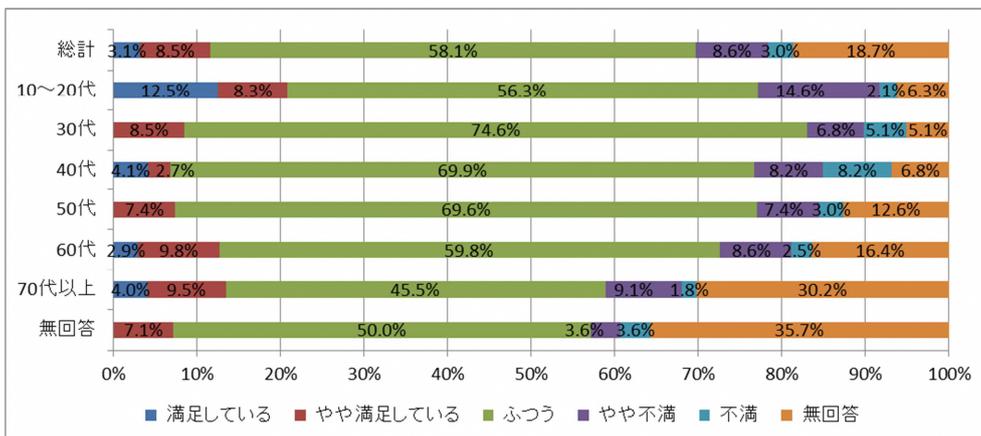
(年代別)



【調査結果概要 ②「町民との協働のまちづくりの推進」に対する町民満足度】  
(全体・男女別)



(年代別)



調査期日 平成28年10月14日～10月28日  
 調査方法 平成28年9月30日現在において、町内に住所を有する満15歳以上の方のうち、無作為に抽出した2,000人  
 回収率 43.1% (862人)  
 その他 町民満足度は、各回答区分の加重平均により算出した。

(参考) 町民満足度の算出方法

アンケート調査の回答区分(5段階)における「満足している」を100点、「やや満足している」を75点、「ふつう」を50点、「やや不満である」を25点、「不満である」を0点として、次の算出方法により満足度を数値化した。

$$\text{満足度指数} = \frac{(a \times 100) + (b \times 75) + (c \times 50) + (d \times 25)}{a + b + c + d + e}$$

a: 「満足している」と回答した人数  
 b: 「やや満足している」と回答した人数  
 c: 「ふつう」と回答した人数  
 d: 「やや不満である」と回答した人数  
 e: 「不満である」と回答した人数

## 5 その他参考となる事項

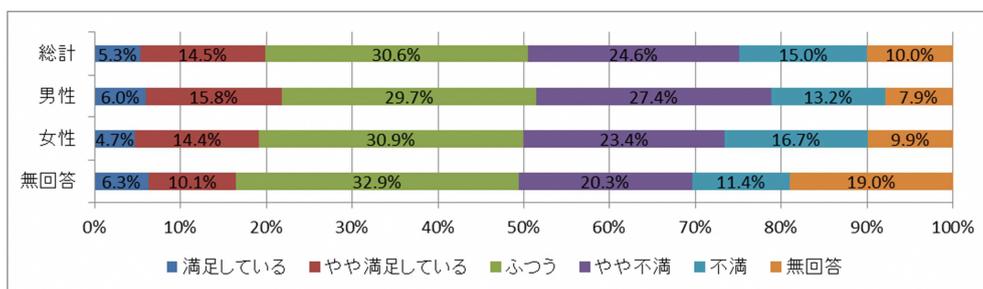
### 【成果指標以外の指標】

前述の住民アンケート調査では、成果指標以外に、当プロジェクトに関連のある次の指標についても調査を行ったが、いずれの項目においても満足度の上昇が確認された。

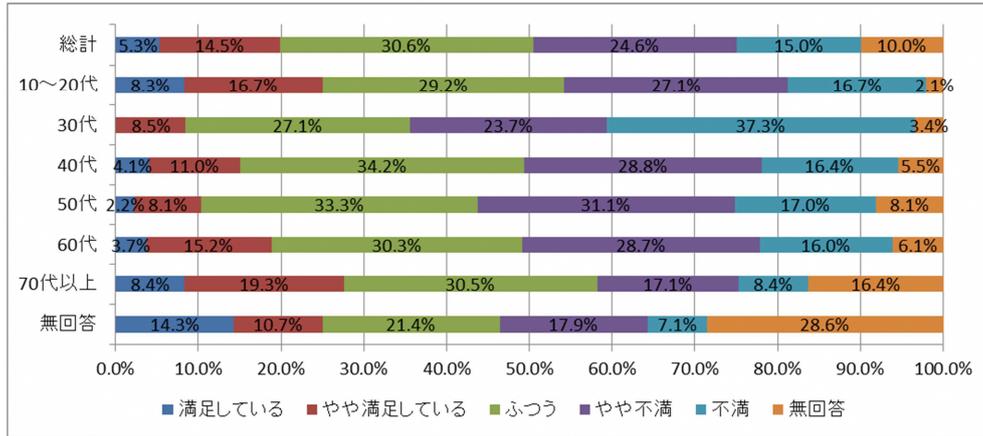
項目	H23 満足度	H28 満足度	増減
① 安心できる医療体制	39.3	41.8	2.5
② 地域ぐるみの健康づくりや健診による予防対策	50.1	57.4	7.3
③ 高齢者への生きがいづくりや生活支援(介護予防など)	44.7	50.2	5.5
④ 健康づくりや町民交流を深めるスポーツ・レクリエーション活動	50.9	52.3	1.4

### 【調査結果概要 ①「安心できる医療体制」に対する町民満足度】

(全体・男女別)

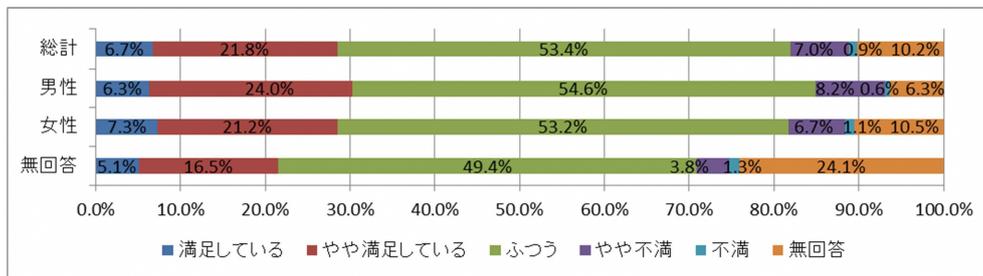


(年代別)

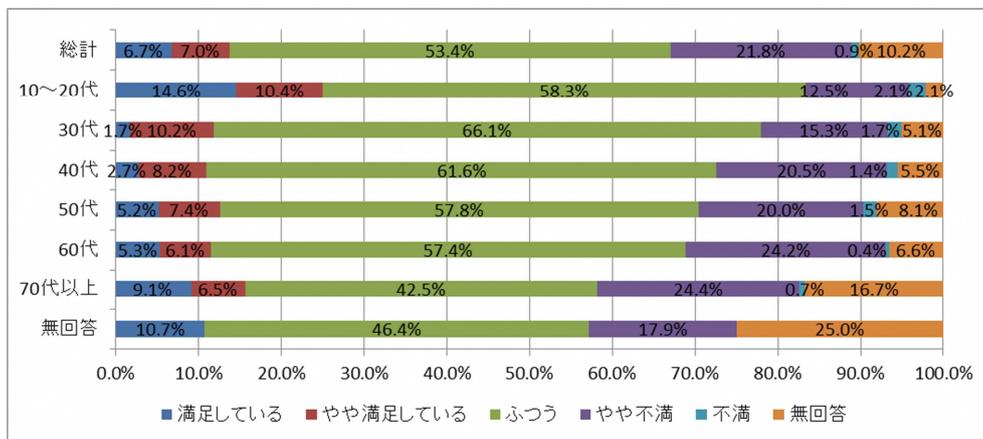


【調査結果概要 ②「地域ぐるみの健康づくりや健診による予防対策」に対する町民満足度】

(全体・男女別)

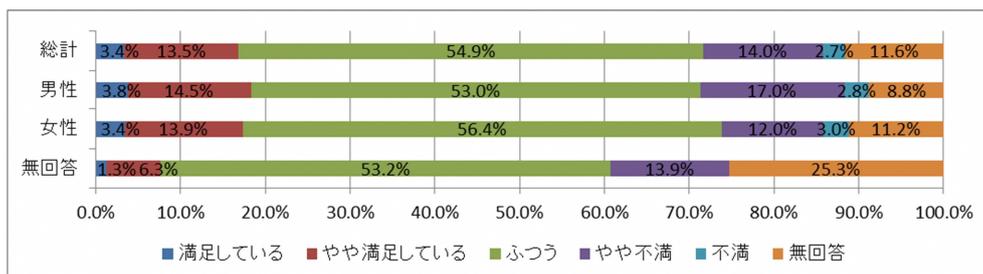


(年代別)

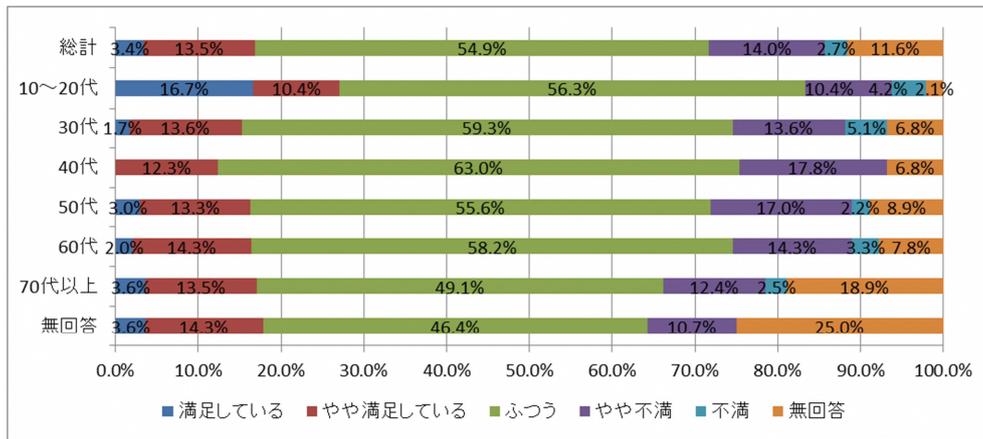


【調査結果概要 ③「高齢者への生きがいつくりや生活支援（介護予防など）」に対する町民満足度】

(全体・男女別)

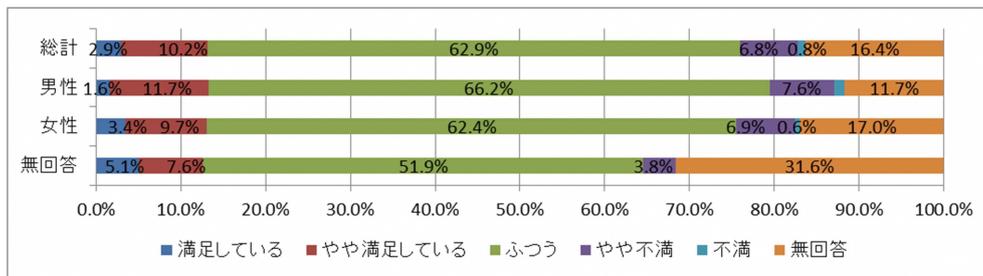


(年代別)

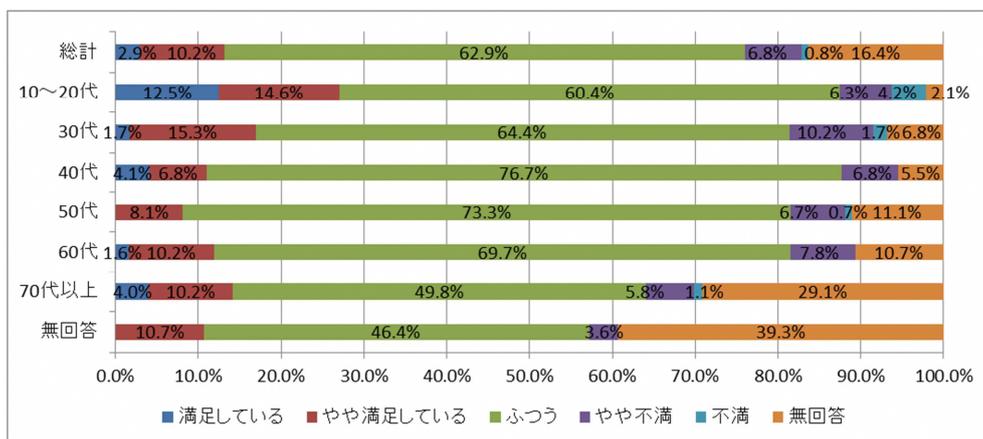


【調査結果概要 ④「健康づくりや町民交流を深めるスポーツ・レクリエーション活動」に対する町民満足度】

(全体・男女別)



(年代別)



## 6 民間アドバイザーの意見

### (一般社団法人男鹿潟上南秋医師会 理事 神田 仁 氏)

- 在宅医療体制の整備について、家庭の介護力の低下など、さまざまな問題が複雑に絡んでおり、解決すべき課題が多い。むしろ、若者が減少していく地域の有り様を懸念しており、働き盛り世代も高齢者も共に支え合うシステムづくりが必要である。
- 屋内温水プールについて、事務室から子ども用プールに目が届かないため、子どもが利用する際の安全面への配慮が必要である。
- 特定健診について、若者がきちんと受診しているか心配である。10歳刻みで受診率を調べるなど現状を分析した上で、若年層の健康を守っていくことが重要である。

### (国立大学法人秋田大学教育文化学部 教授 石沢 真貴 氏)

- 住民アンケート調査において関連指標の満足度が低かった30～50歳代の現役世代が未来を描けるような地域づくりが必要である。
- 屋内温水プールについて、休憩スペース等をただ座るだけの場所として捉えるのではなく、利用者が交流できるよう、会話しやすい配置等を工夫してほしい。

## 7 全体評価

プロジェクト構成事業については、屋内温水プールの改修や各町内会における集会所の施設整備、コミュニティ活動の支援をはじめ、おおむね順調に事業が実施された。

成果指標に設定した「高齢者への生きがいづくりや生活支援」等の町民満足度は目標には及ばなかったものの、成果指標以外の関連指標も含め、いずれの項目も前回調査時の満足度を上回った。とりわけ屋内温水プールについては、改修前に比べ利用者数が約23.5%増加するなど、町の健康づくり・介護予防の拠点として活用されている。

一方、各指標について、30～50歳代のいわゆる働き盛り世代の満足度が低調だったほか、在宅医療提供体制の整備について、医療・介護資源が偏在している状況等もあり近隣の市町村も含めた連携体制の構築が課題となっている。

今後は、総合的な健康づくり・介護予防の拠点として、屋内温水プールや周辺の体育施設の利活用を幅広く検討するとともに、県が目標に掲げる「健康寿命日本一」の取組とも連動しながら、若年層からの健康づくりや集会所等を活用した町内会単位のかみ細かな健康づくりの推進を図るほか、高齢者だけではなく、世代の違いや障害の有無などにかかわらず、誰もが支え合う「地域共生社会」の実現を目指した地域づくりを進めていく。

## 8 今後の推進方針

民間アドバイザーの意見や全体評価を踏まえ、次のとおり推進するものとする。

### (1) きめ細かな健康づくりの推進による「健康寿命日本一」への取組

町民一人ひとりが健康意識を高め、健康増進を図ることで、生涯にわたって健康で明るく生き生きと暮らせるよう、引き続き、町民の主体的な健康づくり活動を支援するとともに、働き盛り世代を中心に、特定健診・がん検診等の受診率の向上や生活習慣病予防のための保健指導の充実を図る。

また、病気の早期発見・早期治療や自殺・うつ病対策など心の健康づくりに努めるほか、介護予防について、ロコモ・フレイルの普及啓発を図り、介護を必要としない元気な高齢者の増加を目指すなど、「健康寿命日本一」を目標として各種事業の推進に努める。

## (2) 地域住民相互の支え合いを基盤とした「町内会ビジョン」や地域共生社会の実現

全町内会（71町内会）において、地域住民同士の絆を深めるとともに、地域の活性化を図るため、10年後の町内会活動のあり方や将来像を掲げた「町内会ビジョン」を策定し、地域課題の解決に向けた地域ぐるみの活動を推進しており、引き続き、地域コミュニティの維持・活性化に向けて、地域住民相互の支え合いを基盤とし、多世代交流の促進や介護予防・日常生活支援・総合事業の活用、コミュニティビジネスの支援のあり方等を検討する。

## (3) 指定管理への移行や他市町村との連携等を通じた屋内温水プール等の利活用の推進

屋内温水プールにおける水中運動は、モデル事業の実施により、体力や下半身（腰・足）に不安のある方や高齢者にも肉体的な負担が少なく、高齢者等の健康づくりや介護予防、肥満及び体脂肪率の改善、体力の維持増進、生活習慣病予防に効果的であることが実証されたことから、引き続き、健康づくりや介護予防の推進を図るため、水中運動教室の充実に努めるとともに、施設の利用促進に向け、安全・安心に利用できる施設機能や民間の運営ノウハウを取り入れるなど、指定管理への移行も含めた施設運営のあり方を検討する。

また、屋内温水プール等の交流の場としての機能も活用し、利用者の交流を促進するとともに、町外からの利用状況を踏まえ、他市町村との連携等を通じた交流人口の拡大を図る。

## (4) 近隣市町村や湖東厚生病院等の関係機関と連携した在宅生活支援の推進

高齢化の進行に伴い、要介護者等の割合が上昇傾向にある中で、地域の要支援・要援護者に対する地域ぐるみの支援体制づくりを推進するため、引き続き、近隣市町村や湖東厚生病院等の関係機関と連携しながら、医療・介護・福祉分野の連携による在宅生活の支援や、在宅医療・介護連携のあり方を検討する。

### 【プロジェクトチーム構成員】

五城目町	健康福祉課、生涯学習課、まちづくり課
県	福祉政策課（幹事課）、長寿社会課、健康推進課、がん対策室、医務薬事課、活力ある集落づくり支援室、秋田地域振興局、地域の元気創造課（事務局）